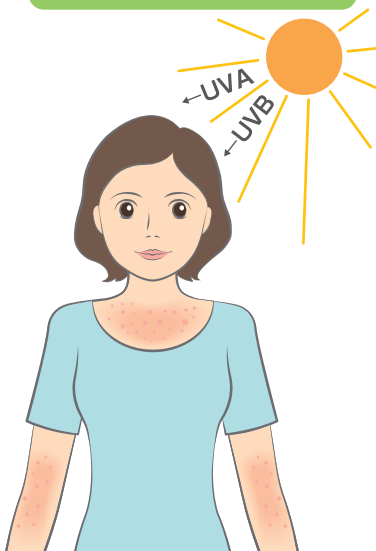


# 半袖で外出したら腕や胸に発疹がでました 「多形日光疹」の可能性ががあります

立川皮膚科クリニック  
www.tachikawa-derma.com

## 多形日光疹の症状



気温が上がって半袖シャツを着始める季節。外から帰ってしばらくすると、腕や胸元に発疹が出ることがあります。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「病名は何でしょうか？」  
「初夏の頃、外出後に腕や胸もとなどにできると、粟粒ぐらいの赤くてかゆい発疹は「多形日光疹」と思われます。症状起こしている状態です。」

「原因は？」  
「軽度の光線過敏症の一種です。紫外線（UV A・UVB）に対する過敏性があり、紫外線による皮膚内にアレルギーが起こす反応を「多形日光疹」と思われます。症状起こしている状態です。」

「治療法は？」  
「かゆみが強い場合、抗アレルギー剤の内服薬やステロイド剤の外用薬などの炎症を抑える薬を処方します。紫外線が原因なので、日焼け止めをつける、日傘を使うなどの工夫も大事です」

「発症の時期は？」  
「太陽光線の強まる5、6月から始まり、秋まで続くことが多いです」

「子どもからシニアまでい年齢で発症します」  
「顔や首など普段から出ている部位に比べて、紫外線に耐性が見られ、発疹が軽度なものもこの病気の特徴です」

「原因は？」  
「軽度の光線過敏症の一種です。紫外線（UV A・UVB）に対する過敏性があり、紫外線による皮膚内にアレルギーが起こす反応を「多形日光疹」と思われます。症状起こしている状態です。」

院長：伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ  
☎042-843-1377  
JR「立川」駅南口徒歩2分

2018年6月16日付 「リビング多摩」に掲載されました